

水産業と酒類製造業が連携した地場産品PR支援活動

南薩地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

南薩地域の水産業・水産加工業は、生鮮魚介類をはじめ、生産量日本一を誇る鰹節類や煮干し類、練り製品、調味加工品など、同地域で水揚げした漁獲物を利用した多様な業態が営まれている。また、同地域内の酒類製造業は、業界を代表する大手メーカーを含め18のメーカーがあり、それぞれが特色のある焼酎を生産する県内でも有数の生産地となっている。

一方、水産業・水産加工業にあっては消費者の魚ばなれや輸入水産物の増加に伴う消費の伸び悩みや魚価の低迷、酒類製造業にあっては第3次焼酎ブームの沈静化に伴う消費量の減少が続いており、いずれも消費の掘り起こしが課題となっている。

このため、地場産品の更なる認知度向上を図るとともに、若年層を主とした新たな消費者を掘り起こし、それぞれの需要拡大を図ることを目的とした。

【普及の内容・特徴】

水産業関連団体（南薩おさかな海道ネットワーク協議会所属10団体）及び酒類関連団体（鹿児島県酒造組合知覧支部所属12社、指宿地区酒造協議会所属6社）が連携し、産業祭等の各種イベントにおいて、試食・試飲を通じた地場産品のPRを図るとともに、集客力が高く、話題性に優れた場所に於いて、共同のPRイベントを開催し地場産品の認知度向上と地域の魅力に係る情報を発信し地域の活性化を図る。

【成果・活用】

① 活動検討会の設置と運営

事業の円滑な進行を図るため、水産業関連団体2団体及び酒造会社5社による活動検討委員会を平成29年4月、12月及び平成30年2月に開催し、活動の方針や共同開催イベントの内容、テーマ（PR資材のデザイン等含む）等について協議及び決定した。

② 地域産業等イベントへの参加

「川辺廿日市」、「南薩摩のだれやめフェスタ」、「枕崎はるの市」など、各種イベントに出店し、カツオ腹皮、煮干し等を試食に供することで地場産品の普及を図った。

③ 水産関連団体と酒造関連団体による共同PRイベントの開催

県外からの観光客、並びに県内の消費者に対し、地場産品の認知度向上を図ることを目的として、平成30年3月5日～6日に鹿児島中央駅前のアミュ広場において、「南薩摩のだれやめフェスタ」と題した共同PRイベントを開催した。

延べ1,500名の来場者に対し、茶節、カツオ腹皮、煮干し、さつま揚げ等の水産物、並びに地場産の各種銘柄の焼酎を提供するとともに、鰹削りパックを添付したパンフレットを配布し認知度向上を図った。

イベント風景

○「南さつまのだれやめフェスタ」(鹿児島中央駅アミュ広場)



○「枕崎はるの市」(枕崎漁港)

